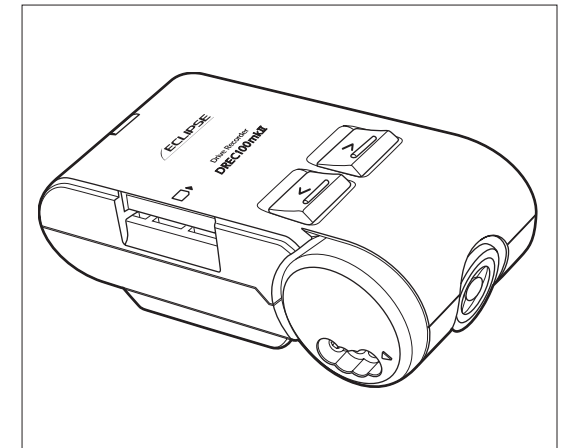


# Drive Recorder DREC100mkII

## 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
本機を正しくお使いいただくために、  
この「取扱説明書」をよくお読みください。  
また、お読みになった後も、必要に応じて  
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。



商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

## 富士通テン株式会社 「お客様相談窓口」



フリーダイヤル 0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00(土・日・祝日などを除く)

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどご利用になれます。  
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

## 富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号  
電話 神戸(078)671-5081(代表)

この説明書は、再生紙を使用しています。  
©富士通テン株式会社 2013

090002-36150700  
1308MT(K)

FUJITSU TEN

# 目次

<b>安全に正しくお使いいただく ために</b> .....	3
<b>使用上のご注意</b> .....	7
<b>各部の名称と異常時の案内</b>	
各部の名称とはたらき .....	9
LED表示、ブザーによる異常通知 .....	10
<b>本体の操作方法</b>	
起動する .....	11
終了する .....	12
映像と音声を記録する（記録モード） .....	13
記録した映像を見る （ビューアーモード） .....	15
日時の設定を変更する（設定モード） .....	18
ドライブレコーダー本体のアプリケーション をバージョンアップする .....	19

<b>ビューアーソフトの操作方法</b>	
ビューアーソフトをコピーする .....	20
記録した映像を見る .....	23
記録した映像をパソコンに保存する .....	28
本体の設定を変更する .....	30
本体の日時を修正する .....	33
SDメモリーカードをフォーマットする .....	35
ヘルプを表示する .....	37
バージョン情報を表示する .....	38
ビューアーソフトを 消してしまった場合 .....	39
<b>ご参考に</b>	
よくある質問 .....	40
本体 .....	40
ビューアー .....	42
仕様 .....	44
<b>アフターサービスについて</b> ...	45

## ■安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容



## 警告

- 本機は DC12V/24V ⊖アース車専用です。12V/24V 車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に SD メモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 別売のシガーライタープラグがシガーライターソケットの形状に合わない場合は、使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機、シガーライタープラグに触れないでください。落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- カード挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。

## 注意

---

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。  
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とす、上に重いものをのせることはしないでください。  
火災、故障の恐れがあります。
- シガーライタープラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。  
コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因となることがあります。
- カード挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
- 本機の取り付け箇所を定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けした部分がはがれていないことを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、増し締めをしてください。  
本機が外れて視界や運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機およびコードを強く引っ張らないでください。  
本機がはずれる恐れがあります。  
(はずれた場合は、お買い上げの販売点へご相談ください。)
- 車検証シールの貼替えの際は、カメラの撮影範囲内に貼らないでください。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。

## 本機について〔必ずお読みください〕

- 本機は、常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合などは、映像が記録されない、または、映像が残っていないことがあります。
  - ① 本機に SD メモリーカードを挿入していない場合
  - ② 本機から SD メモリーカードを抜いた場合
  - ③ 記録した画像が上書きされてしまった場合
  - ④ 大きな事故や水没などで本機およびSDメモリーカードが損傷を受けた場合
  - ⑤ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号が確認できることを保証した装置ではございません。逆光など、環境によって信号が確認できないときは、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと、日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合は、P.18 または P.33 の手順に従い日時を修正してください。
- 映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。衝撃を検知して記録する装置ではありません。SDメモリーカードの記録が一杯になると古い映像を消して上書きします。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SDメモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。

## 安全に正しくお使いいただくために

- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。
- 本機が起動中(LEDが点滅中、点灯中)にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損し、映像を記録できなくなる恐れがあります。SDメモリーカードの破損による映像が記録できない件について、弊社は一切責任を負いません。
- 本機で記録した映像を見るために、下記のスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

### パソコンの必要条件

OS	Windows XP 日本語版 (SP3以降) 32ビット版のみ* <sup>1</sup> Windows Vista 日本語版 (SP2以降) 32ビット版、64ビット版* <sup>1</sup> Windows 7 日本語版 32ビット版、64ビット版* <sup>1</sup> Windows 8* <sup>2</sup> 日本語版 32ビット版、64ビット版* <sup>1</sup>
CPU	Pentium III 800MHz以上* <sup>3</sup>
メモリ	128MB以上* <sup>3</sup>
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上、High Color(16ビット)以上
サウンド	Windowsで使用可能なPCMサウンド再生機能
その他	Internet Explorer 4.0以降 USB 2.0、USB 3.0またはPCMCIAスロット経由でSDメモリーカードにアクセスできること

\* 1 上記OS以外のバージョンのOS上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。

\* 2 タブレットPCを始めとするタッチパネルでの動作は保証対象外です。

\* 3 Windows XPの場合です。Windows VistaおよびWindows 7、Windows 8については、Microsoft社の推奨システム要件が必要です。

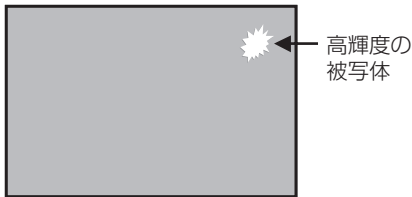
- ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その際は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

## ■ 使用上のご注意

- 取り付け後、取付説明書の動作確認手順に従い、正しく動作していることを確認してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には、必ず添付のSDメモリーカードを使用してください。添付品以外では正しく動作しません。  
SDメモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。  
SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- SDメモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。
- SDメモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LEDが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中にSDメモリーカードの抜き挿しを行うと、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- SDメモリーカードへのデータ書き込み中（LEDが点灯中、点滅中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LEDが消灯）を確認のうえ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますので、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードには、ドライブレコーダーで記録されるデータ以外を保存しないでください。正しく画像が記録されないことがあります。
- LED式信号機は、目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して記録される場合があります。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機への直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。

## 使用上のご注意

- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



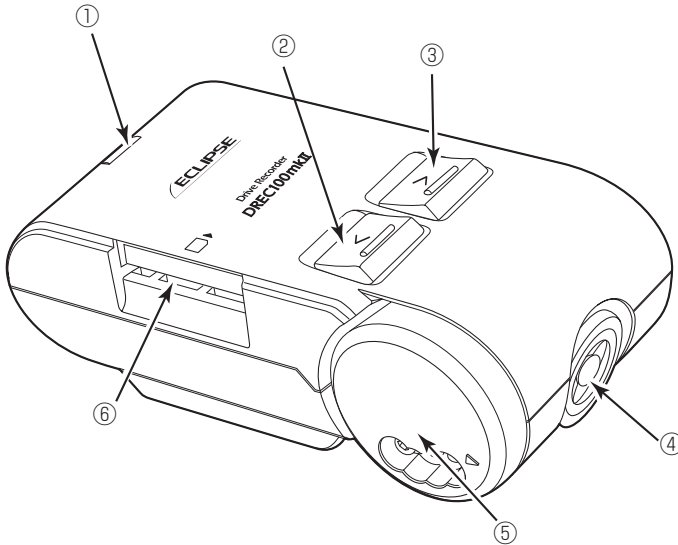
（※）ブルーミング現象：  
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時を定期的に確認してください。日時がずれている場合は、P.18 または P.33 の手順で日時を修正してください。
- 本機は、別売のシガーライタープラグを使用することで簡易に電源を取れるようになっておりますが、車両によってはバッテリーから電源供給されており、バッテリー上がりになる場合がありますので、同梱の接続コードを使用することをお勧めいたします。
- シガーライターソケットから電源をとる場合、エンジンキーオフでシガーライター電源がオフになることを確認してください。エンジンキーオフでシガーライター電源がオフにならない車両は、シガーライタープラグの抜き忘れで、バッテリー上がりの恐れがあるため、シガーライター電源は使用しないでください。
- シガーライタープラグは、奥までしっかりと差し込んでください。シガーライターソケットの口径に合わせて、シガープラグのスライドスイッチを、N側またはW側に切替えて使用してください。差し込んだ後、がたつきがあったり、簡単に抜けてしまう場合は、使用しないでください。火災、感電の原因となります。



## ■ 各部の名称とはたらき

### 本機



#### ① LED

点灯しているときは、記録状態です。  
点滅しているときは、記録再生（ビューアモード時）、時刻設定（設定モード時）、またはアプリケーションのバージョンアップ状態です。

ブザーとともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED表示、ブザーによる異常通知」(P.10)を参照してください。

#### ② < ボタン

モード切換操作、ブックマーク登録、再生操作、再生画面／設定画面での選択・決定・終了操作に使用します。

#### ③ > ボタン

モード切換操作、ブックマーク登録、再生操作、再生画面／設定画面での選択・決定・終了操作に使用します。

#### ④ カメラ

映像撮影部です。

#### ⑤ 角度調整ダイヤル

カメラの角度調整をするときは、ここを回して調整してください。

#### ⑥ カード挿入口

使用する SD メモリーカードをここへ挿入してください。

## ■ LED 表示、ブザーによる異常通知

LED 表示、ブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。

また、スイッチ操作を行ったとき、本機が起動したとき、動作モードが切り替わったときなどにも、LED が点灯したり、ブザーが鳴ったりします。正常動作時の LED 表示、ブザーについては各操作説明を参照してください。

ブザー	LED 状態	原因	対処
ピーッピーッピーッ・・・ (鳴り続ける) * 1 * 2	遅い点滅 * 3	カードが挿入されていない。	SD メモリーカードを挿入してください。
		SD メモリーカードのフォーマット異常の可能性がある。	SD メモリーカードをフォーマットしてください。(→ P.35)
		カードが書き込み禁止になっている。	カードの「LOCK」を解除し、カードを再挿入してください。
プー * 2	遅い点滅 * 4	記録される日時が異常になっている。	本機の日時を修正してください。(→ P.18、P.33)
		映像または音声の保存ができなかった。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。
ピーーピーー・・・ (鳴り続ける) * 1 * 2	速い点滅 * 5	映像および音声の保存ができなかった。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。
ピー (高音) * 2	速い点滅 * 5	アプリケーションの異常を検知した。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。

\* 1 : < ボタンまたは > ボタンを押すとブザーが止まります。

\* 2 : ブザーは ON で設定されています。OFF に変更できません。その他のブザーはビューアーソフトで ON / OFF の設定ができます (P.30 参照)。

\* 3 : 遅い点滅 : 点灯 (0.5 秒) / 消灯 (1.5 秒) の繰り返し

\* 4 : 遅い点滅 : 点灯 (1.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し

\* 5 : 速い点滅 : 点灯 (0.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し

# ■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像と音声を SD メモリーカードに記録し、車載モニターやパソコンなどの画面で見ることができます。

ここでは、本機の使い方、設定の変更方法を説明します。

## 1 起動する

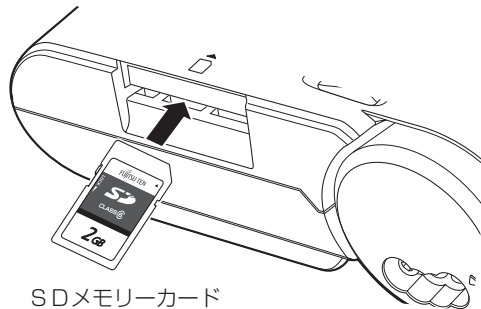
本機の電源は車両のエンジンキーと連動しています。エンジンキーを回す前に、本手順にしたがって SD メモリーカードの有無を確認してください。

### 1. 本機の電源が切れている状態で、SD メモリーカードが挿入されていることを確認します。

#### ⚠ 注意

SD メモリーカードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って SD メモリーカードを挿入してください。

- ・ 本機の電源が切れていること（本機の LED が消灯している状態）  
本機が動作中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、SD メモリーカードが破損する場合があります。
- ・ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」解除の状態であること
- ・ SD メモリーカードを本機に挿入する場合は、向きに注意して挿入すること  
SD メモリーカードは、カチッと音がするまで挿入してください。



SDメモリーカード

### 2. 車両のエンジンキーをオンにします。

電源が入り、本機の LED が点滅します。

#### 👉 ワンポイント

「ピッ」とブザーが鳴り、LED が点灯すると起動完了です（約 15 秒かかります）。

※設定によりブザーが鳴動しないことがあります。

## 2 終了する

---

### 1. 車両のエンジンキーをオフにします。

記録中のときは、記録動作が終了し、LEDが消灯すると、電源が切れた状態になります。

### 2. 記録した映像をパソコンで見たい場合は、SDメモリーカードを取り出します。

SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出します。

#### 注意

- SDメモリーカードへのデータ書込み中（LEDが点灯中、点滅中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LEDが消灯）を確認のうえ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますので、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、ブザーが「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。

### 3 映像と音声を記録する（記録モード）

本機は常時記録型のドライブレコーダーです。（衝撃を検知し、記録する装置ではありません。）本機の起動が完了すると、映像と音声の記録が開始されます。記録中はLEDが点灯します。

SDメモリーカードの記録容量上限に達したときは、古い映像と音声を消して、新しい映像と音声を記録（上書き）します。エンジンキーをオフにすると、記録が終了します。

#### 記録モードについて

記録モードには、標準モードと長時間モードの2種類があり、以下のサイズで記録しています。（お買い上げ時の設定は標準モードになっています。）

標準モード： VGA サイズ（640 × 480 ピクセル）

最大28フレーム/秒

※ 環境によってフレーム数が少なくなったり、QVGAサイズで記録することがあります。

約1時間分の記録ができます。

長時間モード： QVGA サイズ（320 × 240 ピクセル）

最大7フレーム/秒

※ 環境によってフレーム数が少なくなることがあります。

約6時間分の記録ができます。

※ 長時間モードでご使用の場合は、標準モードの映像より画質が劣りますので、実際の映像をご確認いただいた上でご使用ください。

※ 標準モード/長時間モードは、ビューアソフトで切り替えます。

詳しくはP.30をご参照ください。

※ 記録時間は、おおよその目安時間になります。

ご使用の条件や撮影映像によって変化いたします。

### 注意

- SDメモリーカードへの記録中（LEDが点灯中、点滅中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- 電源のオン／オフやモード切り替え（下段「ワンポイント」参照）を頻繁に繰り返すと、短時間の記録ファイルが多くなり、全体の記録可能時間が短くなります。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。衝撃を検知して記録する装置ではありません。SDメモリーカードの記録が一杯になると古い映像を消して上書きします。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SDメモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。

### ワンポイント

記録モードから時刻を設定する画面（設定モード）、または記録を再生する画面（ビューアーモード）に切り替えると、記録が一時停止します。また、記録モードに切り替わると記録が再開されます。

## ブックマークの登録

記録中の映像にブックマークを登録することができます。

走行中に遭遇した出来事などにブックマークをつけることで、ビューアーソフトで記録を再生するときに探しやすくすることができます。

ブックマークは以下の操作で登録できます。

### 1. 記録モード動作中に、ブックマークを登録したいところで、< ボタン、または > ボタンを押します。

「ピッ」とブザーが鳴り、ブックマークが登録されます。

### 注意

- 安全のため運転中に操作しないでください。運転中の操作は事故につながる恐れがあります。車を停車させてから操作してください。
- ブックマーク登録後は1秒間ブックマーク登録できません。

## 4 記録した映像を見る（ビューアーモード）

車載モニターなどでSDメモリーカードに保存されている映像を見ることができます。

### ■ビューアーモードへの切り替え方

#### 1. 記録モード動作中に、> ボタンを1秒押します。

1秒経過した時点で「ピッ」とブザーが鳴り、続いて「ピピッ」とブザーが鳴ると、ビューアーモードに切り替わります。

※ 設定によりブザー鳴動しないことがあります。

※ 車載モニターへの接続がない場合は、ビューアーソフトで映像を見ることができます（P.23 参照）。



**注意**

車載モニター画面は、VTR 操作画面にしてください。



**ワンポイント**

SDメモリーカード内に映像データがない状態でビューアーモードに切り替えると、画面に「No Data」と表示されます。

### ■記録モードへの切り替え方

下の3つの状態でビューアーモードから記録モードに切り替わります。

- 操作しないまま30秒が経過する。  
※再生中の場合は切り替わりません。
- < ボタンと > ボタンを同時に1秒押す。
- 電源をオフにする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

## ■ビューアーモードの操作方法と表示

ビューアーモードに切り替わると、「ピピッ」とブザーが鳴り、LED が点滅して、注意文表示後に選択画面が表示されます。

1. 記録日時一覧から > ボタンや < ボタンを押して再生したい映像を選び、> ボタンを 1 秒押します。

〈選択画面〉



### ワンポイント

- 次ページへ切り替えるときは、最も古い日時の映像を選び、> ボタンを押します。また、前ページへ切り替えるときは、最近の日時の映像を選び、< ボタンを押します。
- 任意の日時の映像を選び、< ボタンを 1 秒押すと選択した映像の最後の画像が表示されます。
- 記録日時一覧は新しい映像から順番に並んでいます。

## 映像再生の場合

画面の上に記録日時が表示されます。

画面の下に、「動作状態（再生中、停止中、一時停止）」が表示されます。



- 映像再生中に > ボタンを押すと、再生を停止します。（一時停止）  
一時停止中に > ボタンを押すと、再生を再開します。



- 再生完了（停止）した状態で > ボタンを押すと、最初から再生します。
- 一時停止中に > ボタンまたは < ボタンを 1 秒押すと、シークバーが表示されます。



> ボタンまたは < ボタンを押し続けるとシークバーが右方向、または左方向へ伸び縮みし、ボタンから手を離れた時点まで映像が早送りまたは早戻しされます。

- ①：早送り時は、一時停止した時点の時刻  
早戻し時は、最初に記録した画像の記録日時
- ②：早送り時は、最後に記録した画像の記録日時  
早戻し時は、一時停止した時点の時刻

- 再生中に、> ボタンを 1 秒押すと、30 秒後から映像を再生します。  
< ボタンを 1 秒押すと、30 秒前から映像を再生します。  
< ボタンを 1 秒押して最も古い日時の映像の先頭に再生位置が移動したときは、先頭から再生します。また、> ボタンを 1 秒押して最近の日時の映像の最後に再生位置が移動したときは、最後の画像が表示されて、再生が停止します。
- 再生中・一時停止中・停止中すべての状態で、< ボタンを押すと選択画面にもどることができます。

## 5 日時の設定を変更する（設定モード）

車載モニターなどに本機の設定画面を映すことで本機の日時の設定ができます。車載モニターへの接続がない場合は、ビューアソフトで日時の設定ができます（P.33 参照）。

### ■ 設定モードへの切り替え方

#### 1. 記録モード動作中に < ボタンを 1 秒押します。

1 秒経過した時点で「ピッ」とブザーが鳴り、続けて「ピピッ」とブザーが鳴ると、日時設定画面に切り替わります。

※ 設定によりブザー鳴動しないことがあります。

### ■ 記録モードへの切り替え方

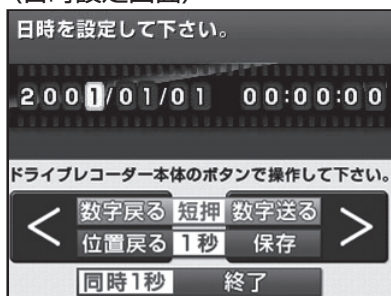
下の 4 つの状態設定モードから記録モードに切り替わります。

- < ボタンと > ボタンを同時に 1 秒押す。
- 操作しないまま 30 秒が経過する。
- 秒の 1 桁目で > ボタンを 1 秒押す。（表示された日時で設定、保存されます）
- 電源をオフする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

### ■ 設定モードの操作方法と表示

- > ボタンを押すと数値が上がります。  
また、< ボタンを押すと数値下がります。
- > ボタンを 1 秒押すとカーソルが次の桁へ移動します。  
また、< ボタンを 1 秒押すとカーソルが前の桁へ移動します。
- 秒の 1 桁目で > ボタンを 1 秒押すと日時が保存されます。

〈日時設定画面〉



#### ⚠ 注意

- 年の桁位置で < ボタンを 1 秒押しても、秒の桁位置へはカーソルは移動しません。
- 秒の 1 桁目で > を 1 秒押しすることにより日時設定が完了します。  
上記操作の途中で終了した場合、変更した設定は保存されません。

## 6 ドライブレコーダー本体のアプリケーションをバージョンアップする

ドライブレコーダー本体のバージョンアップが必要になった場合は、弊社ホームページでご案内いたします。バージョンアップする場合は、弊社ホームページから最新のアプリケーションをダウンロードしてください。

Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのアプリケーションソフトダウンロードの URL は下記のとおりです。

<http://www.e-iserv.jp/top/>

1. 本機の電源を切り、新しいアプリケーションの入った SD メモリーカードを挿入してください。
2. 車両のエンジンキーをオンにして、電源を入れてください。

LED が点滅します。この後、「ピピッ」とブザーが鳴るとバージョンアップが始まります。

しばらくすると、LED が消灯します。バージョンアップが完了し、自動的にアプリケーションが再起動します。

### 注意

- 本体バージョンアップ中（LED が点滅中）は、絶対に電源を OFF しないで下さい。本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを使用しての本体バージョンアップ中（LED が点滅中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますので、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、ブザーが「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。
- 弊社ホームページは、2 か月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

## ■ ビューアソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアソフトを使います。ここでは、ビューアソフトの使い方を説明します。

### ⚠ 注意

パソコンの画面は Windows XP Professional Edition (SP3) のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

## 1 ビューアソフトをコピーする

ビューアソフトは付属の SD メモリーカードにあらかじめ保存されています。ビューアソフトをパソコンで使用するために、デスクトップへコピーします。

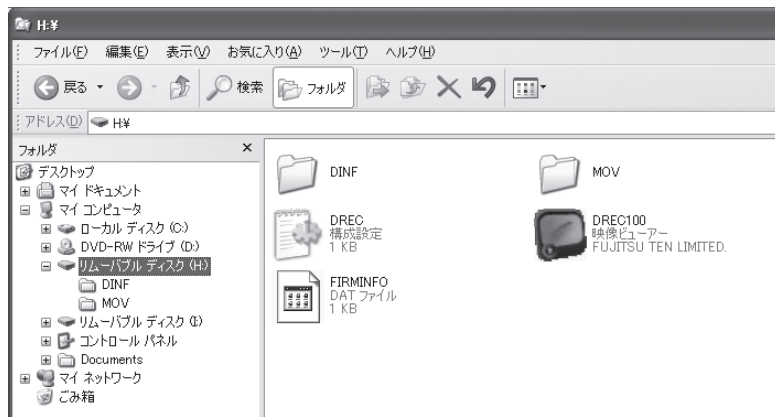
### 1. SD メモリーカードを、パソコンのメモリスロットカードに挿入します。

### ⚠ 注意

- SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、SD メモリーカードスロットへそのまま挿入することができます。SD メモリーカードスロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
- お使いのパソコンによっては、SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

### 2. キーボードのウィンドウズキー (⊞) と E キーを同時に押します。 エクスプローラーが起動します。

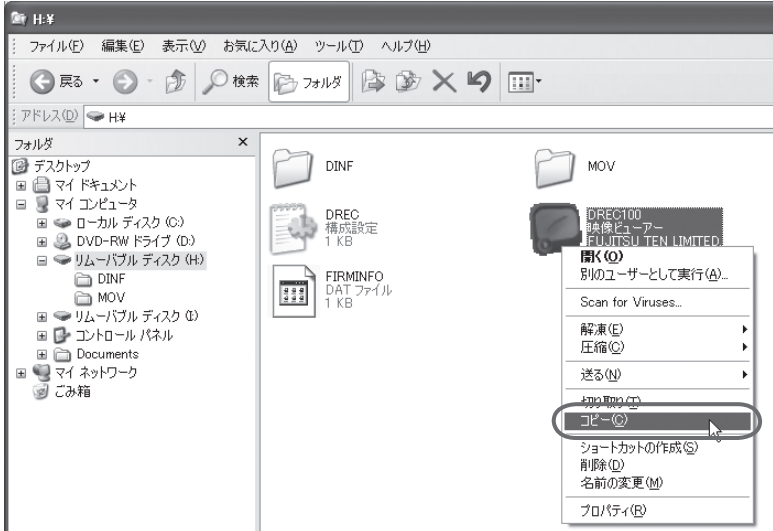
### 3. SD メモリーカードのドライブを選択します。



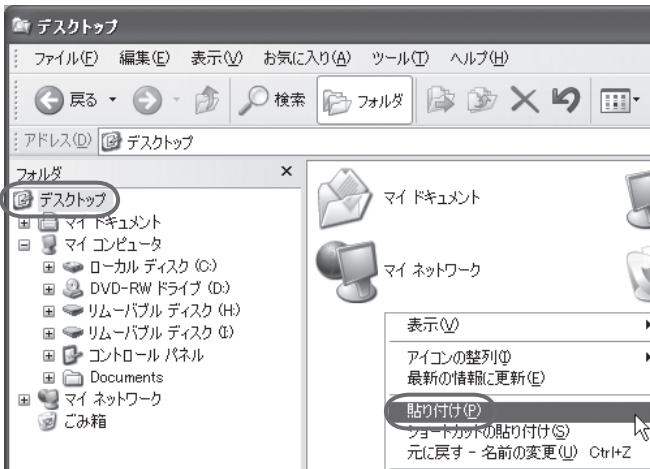
### ⚠ 注意

ビューアソフト以外のファイルも表示されますが、本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

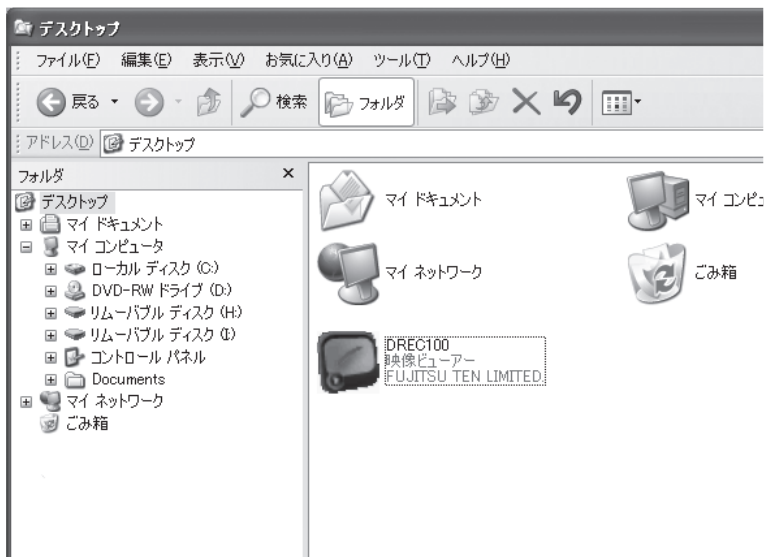
#### 4. 「DREC100」をマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



#### 5. 「デスクトップ」を選択して、右の枠内をマウスで右クリックし「貼り付け」を選択します。



## 6. 「DREC100」がデスクトップへコピーされます。



### ワンポイント

ビューアソフトはバックアップとして任意の場所へコピーすることをお勧めします。  
もし誤ってビューアソフトを消してしまった場合は、専用サイトよりダウンロード可能です。

⇒ 「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.39) 参照

## 2 記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアソフトで見ることができます。

以下の手順でビューアソフトを起動し、映像を再生します。

1. 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

### ⚠ 注意

お使いのパソコンの設定によっては、SDメモリーカードを挿入したときに「Windowsが実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の「×」ボタンでダイアログを閉じてください。

2. デスクトップの「DREC100」をダブルクリックします。



3. ビューアソフトが起動します。



4. 見たい映像のファイルを指定します。  ボタンをクリックします (またはメニューの「ファイル」 - 「開く」を選択します)。

メモリーフォルダ構成については、P.27 を参照してください。

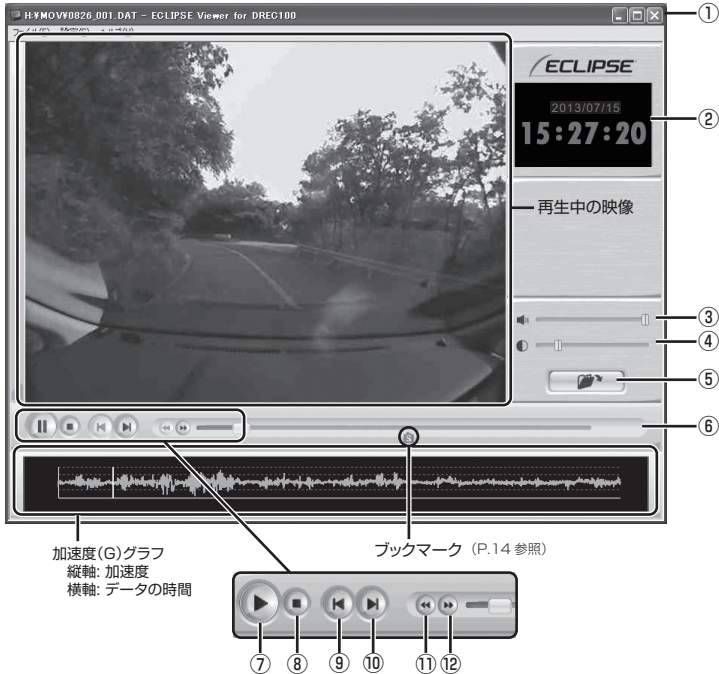


5. SDメモリーカードのドライブを指定し、MOV フォルダから見たい映像のファイルを選択し [開く] ボタンをクリックします。





ビューアーに指定した映像が読み込まれ、自動再生が始まります。



- ① ビューアーを終了します。
- ② 指定した映像の撮影日時を表示します。
- ③ 音量を調整します。  
設定範囲 :0 ~ 16  
数値を大きくすると、音量が大きくなります。
- ④ 映像の明るさを調整します。  
設定範囲 :0.1 ~ 5.0  
数値を大きくすると、映像が明るくなります。
- ⑤ 再生する映像を指定します。
- ⑥ 現在の再生位置を表示します。
- ⑦ 映像を再生します。  
再生中は一時停止ボタン (⏸) となります。
- ⑧ 再生を停止します。
- ⑨ 一つ前の日付の映像を再生します。
- ⑩ 一つ後の日付の映像を再生します。
- ⑪ 一つ前の映像を再生します。
- ⑫ 一つ後の映像を再生します。

6. 終了する場合は、**✕** ボタンをクリックします(またはメニューの「ファイル」－「終了」を選択します)。



#### ワンポイント

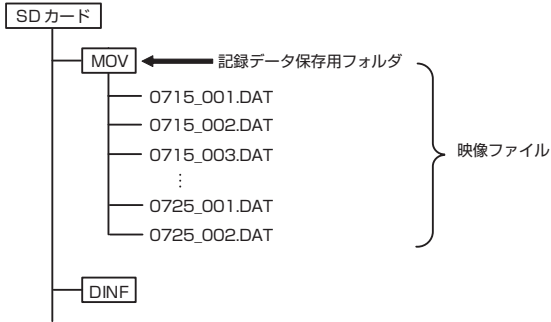
- SDメモリーカードに保持しておける映像の数は限られています。必要に応じて、SDメモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。  
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.28) 参照
- 取付直後やフォーマット直後で動作時間が短い場合、DUMY.〇〇〇と表示されたファイルが存在します。このファイルは映像が記録されていないため、読み込むことができません。

#### 注意

- 映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じてSDメモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。  
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.28) 参照  
⇒「SDメモリーカードをフォーマットする」(P.35) 参照
- SDメモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

## ■メモリーフォルダ構成

- SDメモリーカード内には、以下のように記録データが保存されています。



- 映像は以下のファイル名で保存されます。

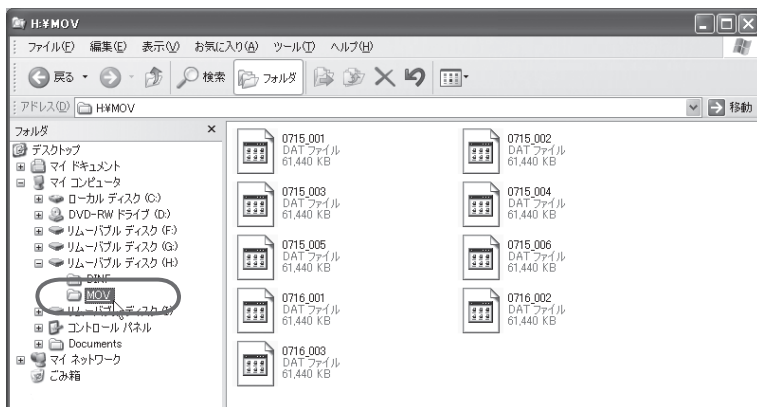
MM DD xxx. DAT  
月 日 通し  
番号

- ハードディスク上にある映像を再生する場合は、ハードディスク上の映像のファイルを選択してください。

### 3 記録した映像をパソコンに保存する

SD メモリーカードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。SD メモリーカードの容量がいっぱいになると、古い映像から上書きしていきますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要であれば、SD メモリーカードの映像データはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

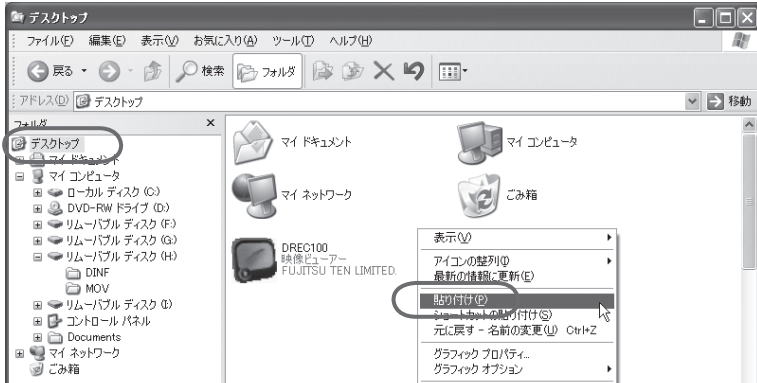
1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
2. エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、MOV フォルダから保存したいファイルを選択します。



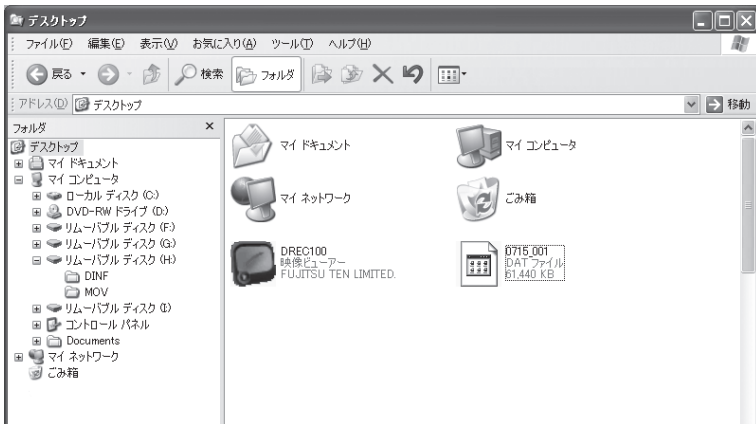
3. 保存したい映像のファイルのマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



4. 保存先のフォルダを指定して（ここではデスクトップにしています）、右の枠内をマウスで右クリックし、「貼り付け」を選択します。



保存したい映像のファイルが、SD メモリーカードから指定した保存先へ保存されます。



### ⚠ 注意

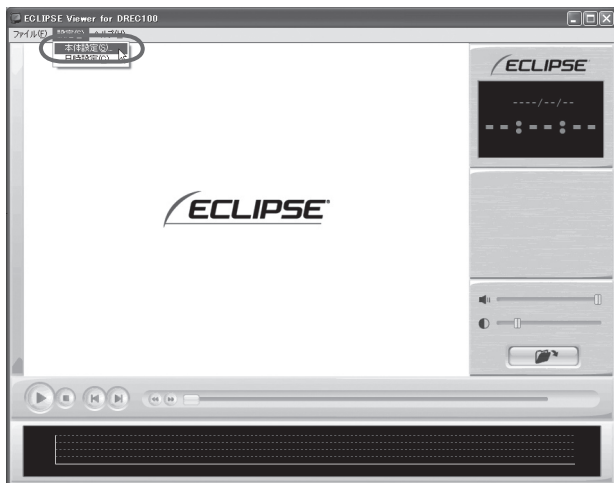
- コピー中にエラーメッセージが表示された場合、映像データが破損している可能性があります。再度やり直してもエラーメッセージが表示される場合は SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。  
⇒ 「SD メモリーカードをフォーマットする」(P.35) 参照
- ひとつのフォルダに保存する映像ファイルは 1000 ファイル以下にしてください。ファイル数が多いと再生まで時間がかかります。

## 4 本体の設定を変更する

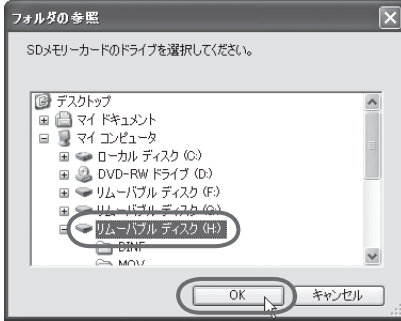
SD メモリーカードを介して、ビューアソフト上から本体の設定を変更することができます。変更が可能なものは以下の通りです。

- (1) ブザー設定  
本体のブザーの ON / OFF を設定します。
- (2) 記録モードの設定  
本体の記録モードを標準モードと長時間モードから選択します。

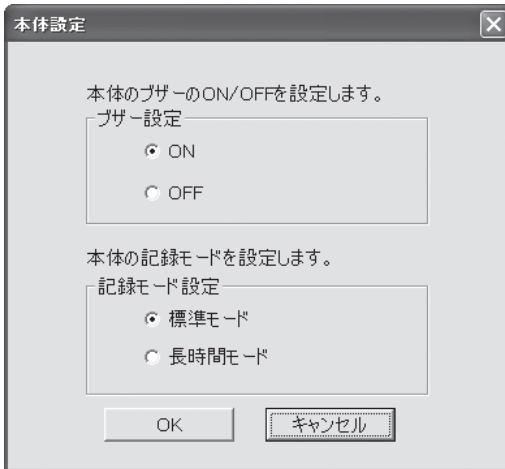
1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「本体設定」を選択します。



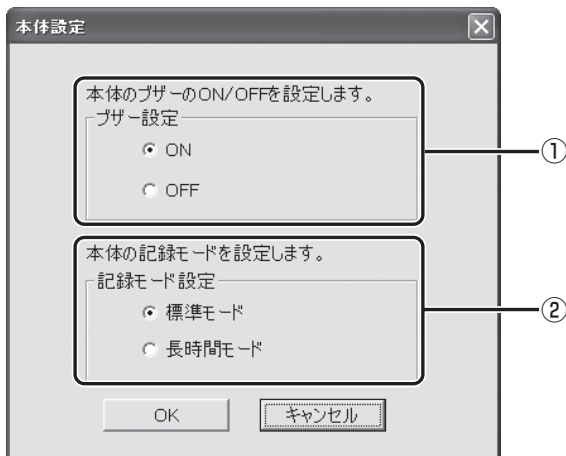
### 3. SDメモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



本体設定画面が表示されます。SDメモリーカードを正しく読み込めた場合は、以前に動作していた設定が表示されます。



#### 4. 本体の設定を変更します。



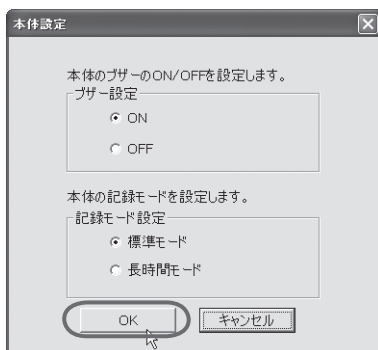
① ブザー設定

本体のブザーの ON / OFF を設定します。

② 記録モードの設定

本体の記録モードを標準モードと長時間モードから選択します。

#### 5. [OK] ボタンをクリックします。



SD メモリーカードへ設定を保存します。設定値を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

#### ワンポイント

設定変更後、SD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で再度設定画面を開くと調整前の値が表示されますが（数値は本体挿入後に変更されます）、SD メモリーカードには調整した値を記録しています。



## 5 本体の日時を修正する

本体では内部に時計を持っており日時を保持していますが、長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合、以下の手順で日時を修正してください。



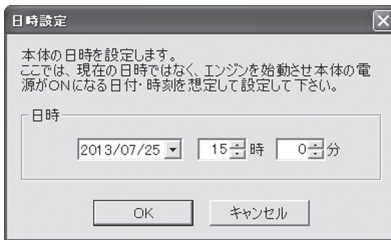
### ワンポイント

ご購入直後はずれている可能性がありますので、一度映像を試し撮りして、映像の日時を確認してください。また、定期的を確認してください。

1. 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」-「日時設定」を選択します。



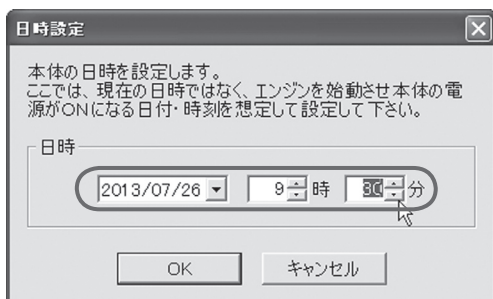
日時設定画面が表示されます。



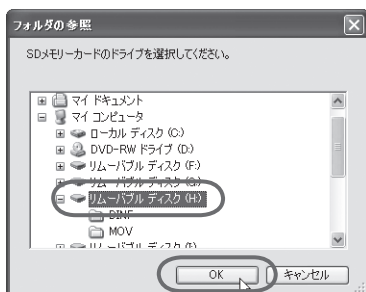
### ワンポイント

設定画面に最初に表示されるのはパソコンに内蔵されている時計の時刻です。ドライブレコーダー本体の時計時刻ではありません。

3. 日時を設定します。現在の日時ではなく、次回にエンジンスイッチ「ON」または「ACC」にする日付と時刻を設定してください。



4. [OK] ボタンをクリックします。書き込み先選択ダイアログが表示されるので、書き込み先としてSDメモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



SDメモリーカードへ設定を保存します。設定値を保存したSDメモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

## 6 SD メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、SD メモリーカードのデータが破損している可能性があります。本手順でSD メモリーカードのフォーマットを行ってください。

### ⚠ 注意

- フォーマット後は、本機に必要な情報をSD メモリーカードに記録するため、起動に時間がかかる場合があります（約1分程度）。  
起動完了（LEDが点灯）するまで絶対にカードを抜かないでください。
- 基本的にSD メモリーカードのフォーマットは必要ありません。SD メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットをしてください。
- フォーマットを行うと、SD メモリーカードのビューアソフトおよび映像データは削除されます。
  - ・ビューアソフトをパソコンへ保存していない場合は、ソフトをパソコンへ保存してください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。  
⇒「ビューアソフトをコピーする」(P.20) 参照
  - ⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.28) 参照

### 1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、弊社ホームページを参照ください。

- ① Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのURLは下記のとおりです。

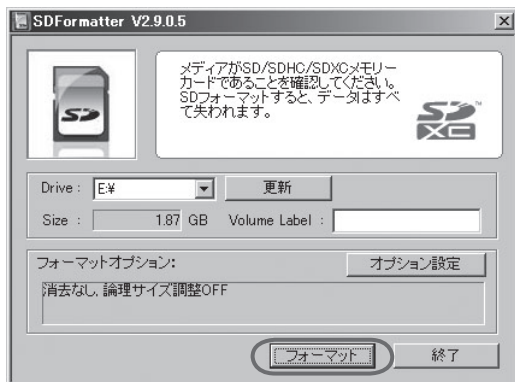
<http://www.e-iserv.jp/top/>

- ② 「ドライブレコーダービューアソフトダウンロード」を選択してください。
- ③ 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
- ④ 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

### 2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

「スタート」 - 「プログラム」 - 「SD Formatter」 - 「SD Formatter JP」を選択します。

3. [フォーマット] ボタンをクリックします。



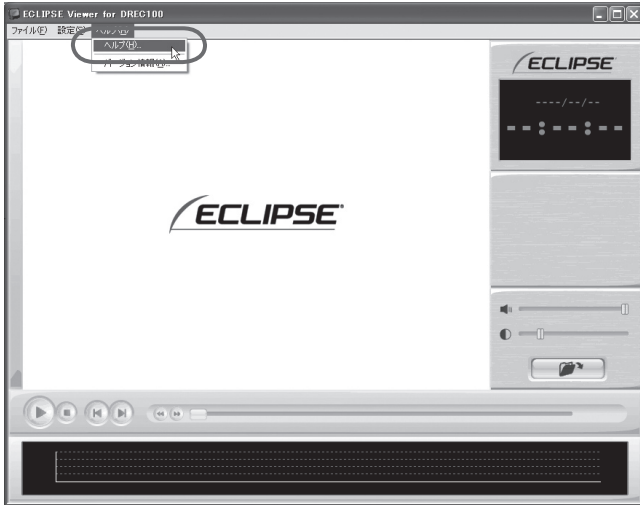
4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

5. [終了] ボタンをクリックします。

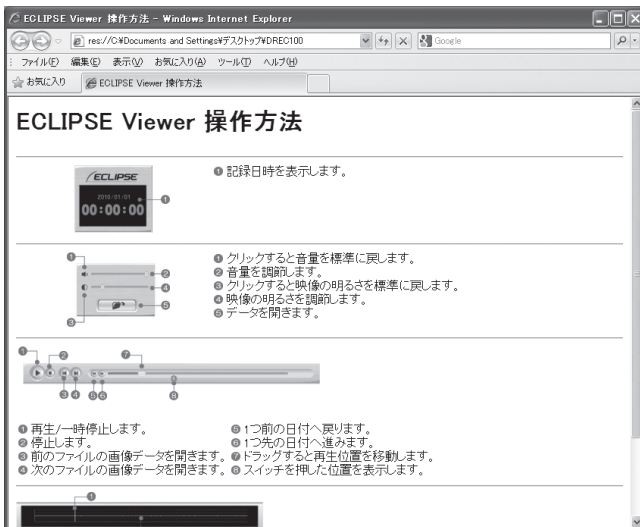
## 7 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは画面上の各ボタンの説明をしています。

### 1. メニューの「ヘルプ」 - 「ヘルプ」を選択します。



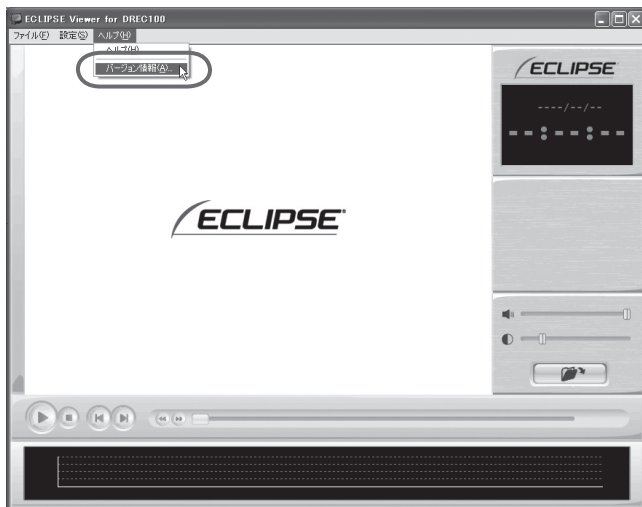
ビューアソフトのヘルプを表示します。



## 8 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアソフトのバージョン情報を表示します。

### 1. メニューの「ヘルプ」 - 「バージョン情報」を選択します。



ビューアソフトのバージョン情報を表示します。



ビューアソフトのバージョンを表示します。

ウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。

## 9 ビューアソフトを消してしまった場合

誤ってビューアソフトを消してしまった場合は、弊社ホームページよりビューアソフトをダウンロードしてください。

1. Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのアプリケーションソフトダウンロードの URL は下記のとおりです。

<http://www.e-iserv.jp/top/>

### 注意

弊社ホームページは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. 「ドライブレコーダービューアソフトダウンロード」を選択してください。
3. DREC100mkII の「ビューアソフトダウンロード」を選択してください。
4. 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
5. 表示されたホームページからビューアソフトをダウンロードし、デスクトップへ保存します。

## よくある質問

### 本体

質問事項	回答
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない／電源が入らないんですか？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、電源の接続をご確認願います。シガーライターで接続している場合は、接触不良等が考えられますので、接触をご確認願います。シガーライター内が汚れている場合は、清掃をお願いします。
シガーライターの形状が合わないけど大丈夫？	シガーライターの形状が合わない場合は、同梱の接続コードを使用し、取付説明書をご確認のうえ、車両から電源を取得してください。
動作確認はどうやって行うのか？	動作確認手順（「本体の操作方法」(P.11) 参照）に従い、映像が撮影されているかパソコンで確認願います。
データを自分で消すことはできるのか？	SDメモリーカード内の映像データは消去しないでください。
カーナビとの接続で映像を見ることはできないの？	画像のみをナビゲーションの画面で見ることができます。お持ちのナビゲーションによっては、ナビ側で設定されているコードが必要になる場合があります。
専用のSDメモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.35) 市販のSDメモリーカードをご購入されても、正常に動作しませんのでご注意ください。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができませんので、修理をお受けすることはできません。
記録したはずの画像がないんだけど？	記録できる映像は標準モードで約1時間、長時間モードで約6時間です（いずれも目安）。(P.13) これを超える場合は、古いものから上書きします。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SDメモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクなどにコピーしておくなどの対応をお願いします。また、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合も保存されません。
信号の色が記録されないことがあるけど故障？	映像の記録周期とLED方式の信号の周期によっては一瞬信号が消えて見える場合がありますが、前後の映像や周辺の車の動き等から判断してください。
エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	電源はシガーライターから取っていますか？車両によっては常時、電源供給されている場合があります。その場合は、同梱の接続コードを使用し、取付説明書をご確認のうえ、車両から電源を取得してください。電源を車両から取っている場合は、接続をご確認願います。



質問事項	回答
本体が起動しないのですが？	専用のSDメモリーカードは挿入されていますか？SDメモリーカードが挿入されていない時は、SDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードが挿入されているにも関わらず本体が起動しない場合は、SDメモリーカードの異常が考えられます。SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.35)
SDメモリーカードに、映像が記録できないのですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・SDメモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.35)</li><li>・SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されていませんか？「Lock」されている場合は解除してください。</li></ul>

## ビューアソフト

質問事項	回答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	画像のみを車載モニターで見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。 ⇒「記録した映像を見る（ビューアモード）」(P.15) 参照。
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
ビューアで撮影日時が表示されず、「映像情報が欠落している・・・」と表示されたんですが？	本体は、日時などの情報データを、映像と共にカードに記録しますが、データ書き込み中のカード抜けや、電源断などの原因により、情報データが正しく書き込めなかった場合に表示されます。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンのOSがWindows 98、ME、Windows 2000ですが映像は見るできますか？	見ることはできません。対応OSはWindows XP（SP3以降 32ビット版のみ）、Windows Vista（SP2以降）およびWindows 7、Windows 8です。それ以外のOSでは、ビューアソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows XP、Windows VistaおよびWindows 7、Windows 8のOSが快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見ることはできますか？	できません。付属のDREC100映像ビューアでのみ再生が可能です。
ビューアソフトを消してしまいました。	ビューアソフトはSDメモリーカードの中に入っています。SDメモリーカードからデスクトップへコピーしてください。また、弊社ホームページからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.39) 参照。
パソコンにSDメモリーカードを挿入しても認識しないんですが？	SDメモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度SDメモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識出来ていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。
ビューアソフトが起動しないんですが？	お使いのパソコンのOSはWindows XP（SP3以降）、Windows Vista（SP2以降）またはWindows 7、Windows 8ですか？ビューアソフトは、Windows XPより古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、専用サイトからダウンロードしてください。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.39) 参照。

質問事項	回 答
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないのですが？	再度フォルダを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性がありますので、SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.35)
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないんですか？	ビューアーの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。(P.26) 設定変更しても音が出ない場合、パソコン本体の音量設定を確認してください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルをSDメモリーカードから読み込みます。 ご購入直後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。 そのままOKボタンを押してください。
本体設定画面で設定を変更して書き込みをしましたが、設定が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。 設定変更をした後、SDメモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声途切れたりするのですが？	ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

## ■仕様

項目	仕様
動作温度範囲	- 20 ~ + 65°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 V ~ 32 V
消費電流	最大 300mA 以下
外形寸法	横幅 50mm × 高さ 38mm × 奥行 100mm (突起部を除く)
質量	約 100 g
記録方法	常時記録 (標準モード / 長時間モードの 2 モード)
映像記録時間	標準モード: 約 1 時間 長時間モード: 約 6 時間
映像フレーム数	標準モード: VGA サイズ (640 × 480 ピクセル)、最大 28 フレーム / 秒 長時間モード: QVGA サイズ (320 × 240 ピクセル)、最大 7 フレーム / 秒
時計精度	月差 13 秒
VIDEO 出力	NTSC
撮像素子	1/4 型カラー CMOS
有効画素数	約 31 万画素
水平解像度	500 TV 本 (中心部)
画角	水平 135° × 垂直 107° 対角 165°

## ■アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。  
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「**■よくある質問**」(P.40)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
  - ◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
  - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
    - ※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
  - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

## 商品に関するお問い合わせ先 アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

### <お客様相談窓口>

富士通テン株式会社  
「お客様相談窓口」



フリーダイヤル 0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前10:00~12:00、午後1:00~5:00  
(土・日・祝日などを除く)

## 製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

### <富士通テン販売株式会社>

東京本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 山梨
札幌事務所	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
仙台事務所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
さいたま事務所	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目 18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、 茨城、新潟、長野
名古屋事務所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
西宮事務所	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
広島事務所	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
福岡事務所	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄